

開館35周年記念特別展 「美の力」		石川県立美術館 [企画第7.8.9展示室] 〒920-0963金沢市出羽町2番1号 TEL076-231-7580	
4.21[土]-5.20[日] 9時30分～18時(受付は17時30分迄)		特別講演会	会場＝石川県立美術館ホール 聴講無料／先着200名
観覧料＝一般1,000円(800円) 大学生600円(500円) 高校生以下無料		4月29日[日] 13時30分-15時	講師＝熊倉 功夫氏(MIHO MUSEUM館長) 演題＝「前田家と茶の湯」
同時開催(コレクション展) 「名物裂と茶道美術 ―藩主の茶の湯問答―」 「茶道美術名品選 II」		土曜講座(本展担当学芸員)	会場＝石川県立美術館講義室 聴講無料／先着50名
主催＝石川県立美術館 共催＝金沢美術倶楽部100周年実行委員会		5月12日[土] 13時30分-15時 5月19日[土] 13時30分-15時	①講師＝高嶋 清栄 演題＝「再考 一座建立の精神」 ②講師＝村瀬 博春 演題＝「千利休 美の哲学」
		ギャラリートーク(本展担当学芸員)	要観覧料
		①4月22日[日] ②5月6日[日] ③13日[日] ④20日[日]	いずれも午前11時～
「POWER OF ART」		金沢21世紀美術館 市民ギャラリーA 〒920-8509金沢市広坂1丁目2-1	
4.21[土]-5.20[日] 10時～18時(受付は17時30分迄)		ギャラリートーク	要観覧料
観覧料＝一般1,000円(800円) 大学生600円(500円) 高校生以下無料		4月21日[土] 14時～ 4月28日[土] 14時～	①金沢美術倶楽部によるギャラリートーク ②金沢美大生によるギャラリートーク
主催＝金沢美術倶楽部100周年実行委員会			
「茶事の妙」		金沢市立中村記念美術館 〒920-0964金沢市本多町3丁目2番29号 TEL076-221-0751	
前期 4.21[土]-5.6[日] 後期 5.8[火]-5.20[日] 9時30分～17時(受付は16時30分迄)		ギャラリートーク	要観覧料
観覧料＝一般・大学生300円(250円) 高校生以下無料		4月22日[日] 14時～ 5月3日[木祝] 18時～ 5月12日[土] 11時～ 5月19日[土] 11時～	①金沢美術倶楽部によるギャラリートーク ②学芸員によるギャラリートーク ③金沢美術倶楽部によるギャラリートーク ④学芸員によるギャラリートーク *5月3日[木祝]は、ナイトミュージアム(20時まで開館)
主催＝金沢市／金沢美術倶楽部100周年実行委員会			

*各展観覧券の半券提示で観覧料の相互割引あり * ()は20名以上の団体料金

共催＝金沢美術商協同組合 特別協力＝北國新聞社／金沢美術工芸大学 学術協力＝(公財)前田育徳会
後援＝文化庁／石川県／金沢市／金沢商工会議所／石川県茶道協会／NHK金沢放送局／北陸放送／テレビ金沢
石川テレビ放送／北陸朝日放送／金沢ケーブルテレビネット

協力＝北陸大学／淡交会石川支部／同門会石川県支部／石川県茶業商工組合／石川県菓子工業組合金沢支部
金沢市料理業組合／金沢芽生会

協賛＝味百珍かさい／イセ食品(株)／鶴川印刷(株)／内田マタニティクリニック／御菓子所 吉はし／懐石つる幸
カタニ産業(株)／金沢市料理業組合／金沢芽生会／(株)カーパーク北陸／上林金沢店舗／キスモ(株)
(株)金銀箔工芸さくだ／(株)コメヤ薬局／サンタ(株)／第一電機工業(株)／大京(株)／大和タクシー(株)
永野印刷(株)／日本料理銭屋／ピーインググループ／(株)福光屋／(株)北計工業／(株)北國銀行／(株)ホクスイ
(株)北陸銀行／(株)森八／(株)米沢茶店／(株)落雁諸江屋 (五十音順)

美のチカラ

北野・朝比奈・筒井筒、揃い踏み。

石川県立美術館
開館35周年記念特別展
「美の力」

金沢21世紀美術館
市民ギャラリーA
「POWER OF ART」

金沢市立中村記念美術館
「茶事の妙」

2018
4.21(土)-5.20(日)
三会場同時開催
会期中無休
*5.7(月)は「茶事の妙」のみ展示替えのため休館

「写真上から」
(限文)黒楽茶碗 銘北野 長次郎 (石川県立美術館蔵)
黄瀬戸茶碗 銘朝比奈 (北陸大学蔵)
(重文)大井戸茶碗 銘筒井筒

「**美の力**」／石川県立美術館 [企画第7.8.9展示室]

2018.4.21(土)－5.20(日)

千利休の生き様が、加賀百万石を動かした―秘蔵の逸品 奇跡の邂逅―

美に殉じた千利休の気魂は茶弟で加賀藩祖・前田利家以後の文化観を方向付け、前田家は戦略的姿勢から江戸幕府に対して文化による地域の独自性を打ち出し、名品の収集や名工の招聘・支援による美術工芸の振興など様々な政策を展開しました。この体制は明治維新により一時揺らぎましたが石川県が継承し、今日に至る「加賀百万石」のブランドイメージが形成されました。しかし、そこにはブランドの担い手として明治時代以後の実業家・数寄者や美術商の尽力があったことを忘れることはできません。本展は、国宝4点、重要文化財34点を含む茶道美術を中心とした逸品の数々を通して、「美の力」が当地の個性を確立していった道程を再発見するものです。

- 主な展示作品
- 《国宝》古今集卷第十九残卷(高野切) 前田育徳会蔵
- 《国宝》墨蹟 山門疏 無準師範筆 五島美術館蔵
- 《国宝》賢愚経残卷(大聖武) 卷第九 伝聖武天皇筆 前田育徳会蔵
- 《国宝》古今集(清輔本) 伝藤原清輔筆 前田育徳会蔵
- 《重文》曜変天目茶碗 前田家伝来 MIHO MUSEUM蔵
- 《重文》白磁蓮華文輪花鉢 前田家伝来 静嘉堂文庫美術館蔵
- 《重文》黒楽茶碗 銘 青山 楽 道入作 楽美術館蔵
- 《重文》色絵月梅図茶壺 野々村仁清作 東京国立博物館蔵
- 《重文》山水図襖 長谷川等伯筆 圓徳院蔵
- 《県文》黒楽茶碗 銘 北野 長次郎作 石川県立美術館蔵



奥高麗茶碗 銘 子のご餅 北陸大学蔵



《重文》 三十六歌仙切 王生忠視 佐竹家伝来



狗子図(部分) 俵屋宗達画 一糸文守賛

「**POWER OF ART**」／金沢21世紀美術館 [市民ギャラリーA]

2018.4.21(土)－5.20(日)

縄文時代から現代まで。古今東西、優れた美術品の“POWER”を体感する稀有なる機会。

優れた美術品には作品そのものが発するオーラがあります。本展覧会では、作品の作者や制作過程、歴史背景、伝来など、作品に付随する重要な価値をあえて一旦脇に置き、作品そのものと純粋な気持ちで対峙していただきたいと考えています。黄瀬戸茶碗の白眉「朝比奈」(北陸大学蔵)を中心に据え、「彩り」「白と黒」「チカラ」「静と動」「愛らし」の5つの章立てで構成。金沢美術工芸大学の学生チームと金沢美術倶楽部の渾身のコラボレーションです。

- 主な展示作品
- 石山切 伊勢集断簡
- 風神雷神図二枚折屏風 棟方志功筆
- 木村雨山 加賀友禅振袖 銘 花の園 加賀染雷鳥会蔵
- マイセン ポ・プリ(飾り壺) 金沢美術工芸大学蔵
- 黒釉刻花牡丹唐草文梅瓶 磁州窯 イセ文化基金蔵
- 伊賀耳付花入 銘 林和靖
- 黄瀬戸茶碗 銘 朝比奈 北陸大学蔵
- 色絵牛図茶壺 野々村仁清作 福井県立美術館蔵
- 童子図 俵屋宗達筆 石川県立美術館蔵
- 縄文時代 遮光式土偶



木彫鏡獅子 平櫛田中作



ハッ橋蒔絵茶箱 五十嵐道甫作



ギター弾き(部分) 鴨居玲筆 金沢美術工芸大学蔵

「**茶事の妙**」／金沢市立中村記念美術館

前期 4.21(土)－5.6(日)

後期 5.8(火)－5.20(日)

5/7(月)のみ展示替えのため休館

御茶一服差し上げたく…。100年に一度の夢のような取り合わせの茶事へようこそ。

「茶事」。それは総合芸術といわれる茶の湯の本来の姿です。5名程度のお客様を約4時間かけて炭点前、懐石、濃茶、薄茶ともてなします。前期・後期で全作品の展示替えという前代未聞の展示に挑戦し、炉と風炉の趣の異なる取り合わせで皆様をお迎えします。《重文》大井戸茶碗「筒井筒」をはじめ、既知未知の名品が多数出展されます。金沢美術倶楽部が100年分の感謝の気持ちを込めた究極の取り合わせの茶事へぜひご来庵ください。

- 主な展示作品
- [前期] 《重文》墨蹟 偈頌 夢窓疎石筆 金沢市立中村記念美術館蔵
- 古瀬戸肩衝茶入 銘 山名
- 《重文》大井戸茶碗 銘 筒井筒
- 御本立鶴茶碗 銘 宇禰野
- 《重美》砧青磁平水指 銘 青海波 金沢市立中村記念美術館蔵
- [後期] 平治物語断簡
- 伝小野道風 継色紙 三井記念美術館蔵
- 小堀遠州作 茶杓 歌銘 松島
- 《重文》作庭記 二巻
- 赤楽茶碗 銘 虹 楽 道入作



[後期] 中興名物 千種伊羅保茶碗



[前期] 堆黄龍文丸盆(萬曆在銘)



[前期] 流釉茶碗 銘 片男波 野々村仁清作